

子どもがスマートフォンを持つということ

入学・進級を機に、スマートフォンを持ち始める子どもたちの姿が見られます。スマートフォンを持つことで世界が広がり、様々な人とのコミュニケーション、様々な情報へのアクセスができるようになります。

そうした中、近年では、スマートフォンなどの通信機器を利用する子どもの低年齢化、SNSの普及などもあって、未成年が犯罪やトラブルに巻き込まれることが多くなってきています。

● 実際に起こったこと ～違法・有害な情報に触れるリスク～

インターネット上には「暴力、薬物、自殺、児童ポルノ、著作権侵害、その他の誘惑」等、違法・有害な情報があふれています。

実際に、インターネット上の書き込みを見て薬物に手を出してしまったり、家出をした未成年者がSNSを使って書き込みを行い、こういった書き込みを見た第三者が、未成年を誘拐するなどの事案が起きています。

⚠ スマートフォンを持つ「メリット」と「デメリット」

✓ メリット

- ・ 緊急時、災害時の連絡手段
- ・ GPSによって居場所がわかる
- ・ 友だちの輪が広がる
- ・ 多くの情報が短時間で入手できる
- ・ インターネットリテラシーの早期向上
(情報ネットワークを正しく利用できる能力)

etc...

✓ デメリット

- ・ 違法・有害情報の閲覧
- ・ ネットいじめ・誹謗中傷
- ・ 著作権侵害
- ・ SNSに起因する犯罪被害
- ・ SNSへの不適切投稿

etc...



安全に使うために・・・

子どもたちが安全にスマートフォンを使える対策として、情報モラル教育はもちろん必要ですが、まず、子どもたちが通信機器を使用して、違法・有害な情報を閲覧しないようにすることが大切です。

例えば・・・

- ・ **ルール**を決める(使用時間等)
- ・ **フィルタリング**を設定する

※ フィルタリングの設定は『**保護者の責務**』です！



子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれない対策をしましょう！